

青森県 観光戦略

2024 ~ 2028

2024年3月
青森県観光国際戦略推進本部

青森県観光戦略

将来ビジョン（2028年の目指す姿）

本県が世界とつながり、世界から選ばれ、観光産業が基幹産業として地域経済を力強くけん引している状態
「訪れる人」「働く人」「地域の人」が幸せを感じる地域



将来ビジョン達成のために解決しなければいけない課題・やらなければいけないこと

観光コンテンツ開発

- ・観光コンテンツの定着
- ・付加価値の創出
- ・情報伝達
- ・青森ファンの拡大

受入環境整備

- ・施設の老朽化
- ・多様な文化や価値観を持つ観光客の受入体制
- ・二次交通

観光地域づくり

- ・人材確保・育成
- ・デジタル化・観光DX
- ・DMO主体の地域づくり

国内外からの誘客

- ・需要の繁閑差
- ・近隣道県からの誘客促進
- ・直行便の活用
- ・エリア毎の対策

将来ビジョン達成のための役割分担

県民	本県を訪れるすべての観光客の満足度向上につながるような「おもてなし」の心を持って観光客に接し、また、自ら県内を旅行することで、楽しみながら本県の魅力を再発見し、その魅力を周囲に伝えていきます。
民間企業	観光で「稼ぐ」ことを意識して、サービスや商品の付加価値創出や高付加価値化に取り組むとともに、地域調達率を高めていく取組を行うことで、域内で経済を回していきます。
市町村	県やDMO・地域の関係者と連携を図りながら、人材確保や人財育成、受入体制整備など、観光基盤強化につながる取組などを行います。
DMO	それぞれ所管する地域の関係者や県内外のDMO、市町村・県などと連携しながら、地域の特性を生かし、地域で「稼ぐ」ことを意識した取組や観光地経営の視点に立った観光地域づくりを行います。
県	県内外や海外との関係者・ネットワークを活用した連携を通じて広域的な取組を行いながら、DMOや市町村、民間企業が行う取組のサポートを行うとともに、人財育成・確保や施設整備などの観光産業の基盤強化に取り組みます。

持続可能な観光の確立

国内外の観光客は、旅の中でもサステナブルな要素を求めるようになりました。また、観光事業者も事業継続のために観光DX推進などによる生産性向上を図り収益を確保するなど、「持続可能性」を意識した取組を行う必要があります。そこで、県全体でサステナブル対応を強力に推進するため、「サステナブル観光県青森」をスローガンとして掲げます。

観光消費額の拡大

持続可能な観光産業を確立するための重要な要素です。観光客に満足していただいた先に、しっかりと消費をしてもらうことを意識します。

連泊の推進

県内の滞在時間を延ばすことは、消費拡大にもつながります。また、同一施設での連泊を促すことは、生産性向上にもつながるため、地域の事業者が連携し楽しみ方を提供することで、宿泊施設を拠点とした連泊を推進します。

2028年数値目標と戦略プロジェクト

指標	目標値	最新値
観光消費額	2,000億円	1,495億円 (2022年)
延べ宿泊者数	550万人泊	444万人泊 (2023年)
外国人延べ宿泊者数	50万人泊	271,010人泊 (2023年)

参考指標	最新値
平日宿泊率	10.2% (2023年)
日帰り客消費単価	6,028円 (2022年)
宿泊客消費単価	26,153円 (2022年)
連泊率	14.5% (2023年)

Project 1

観光の付加価値創出・向上

- I 付加価値創出による収益確保
- II 本県の強みを生かしたコンテンツ整備
- III 連泊促進
- IV 平日閑散期対策

Project 2

多様な来訪者が快適に滞在できる環境づくり

- I 移動の利便性向上
- II 快適に旅行できる安全・安心な観光地づくり
- III 多様な価値観への対応
- IV 受入施設の充実

Project 3

観光DXの推進と持続可能な観光関連産業の確立

- I 観光DXの推進
- II 的確な旅行ニーズの把握
- III 観光地域づくりの担い手育成
- IV 観光産業への投資促進

Project 4

青森ファンを増やす情報発信

- I オールあおもりでの交流促進
- II 青森観光のブランドイメージの向上
- III 様々な媒体を活用した情報発信
- IV ファンマーケティングの推進

Project 5

国内外からの誘客の強化

- I 徹底したマーケティングの実施
- II 交通手段に合わせた滞在プランの提供
- III 訴求力のあるコンテンツの活用
- IV 旅行形態に応じた誘客促進
- V 近隣道県からの誘客促進
- VI MICE・教育旅行の誘致